

# 収支報告書

令和 1 年 5 月 7 日

山口県議会議長 様

報告者 住所 山口県宇部市岬町2丁目3-16-1  
氏名 篠崎 圭二



政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定により、下記のとおり報告します。

## 記

収 入		4,200,000 円		
費 目	金 額 (円)	内 訳	内訳金額(円)	
支	調査研究費 54,000	車両リース代	54,000	
		研修費	0	
		会議費	0	
		資料費	0	
		出	広報費 2,859,448	県政レポート10号 印刷費
県政レポート10号 折込費	82,245			
県政レポート10号 送付料	856,626			
県政レポート11号 印刷費など	1,378,417			
事務所費 379,500	事務所賃借料		330,000	
	水道代		11,000	
	駐車場代		38,500	
事務費	92,400		印刷機リース代	92,400
人件費	814,000		人件費	814,000
合計	4,199,348			
残 余			652 円	

### 費目別支出内容一覧表

議員名 篠崎 圭二

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費		整理番号	1-1	
事業内容	政務活動用車両リース料				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	平成30年4月分～ 平成31年1月分まで	108,000	54,000	$(10,800 \times 10) \times 1/2$ $= 54,000$	
		《合計》	108,000	54,000	
	按分割合 積算根拠	政務活動用使用頻度 (50%) / (政務活動用使用頻度 (50%) + その他の活動使用頻度 (50%)) = 1/2			

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること  
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料（公共交通機関利用料を含む）を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	調査研究費	整理番号	1-2
【領収書その他の書面の添付欄】			
14	30-08-02 8	54,000 トヨタファイナンス	████████
22	30-09-03 8	10,800 トヨタファイナンス	████████
4	30-10-02 8	10,800 トヨタファイナンス	████████
14	30-11-02 8	10,800 トヨタファイナンス	████████
21	30-12-03 8	10,800 トヨタファイナンス	████████
6	31-01-04 8	10,800 トヨタファイナンス	████████
この通帳の写しは篠崎圭二名義で相違ありません			

費目別支出内容一覧表

議員名 篠崎 圭二

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費		整理番号	1-1
事業内容	県政レポート10号 印刷、折込、送付 県政レポート11号 印刷、折込、送付			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	県政レポート10号 印刷費	542,160	542,160	31,000部
	県政レポート10号 折込費	82,245	82,245	17,710部
	県政レポート10号 送付料	856,626	856,626	領収書893,971円の内、 送料856,626円使用 送付枚数 10,413部
	県政レポート11号 印刷費	500,580	500,580	31,000部
	県政レポート11号 折込費	82,245	82,245	17,710部
	県政レポート11号 送付料	795,592	795,592	領収書828,317円の内、 送料795,592円使用 送付枚数 10,956部
	《合計》	2,859,448	2,859,448	
按分割合 積算根拠				

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること  
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報  
告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料（公共交通  
機関利用料を含む）を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報  
告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満た  
さない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可


領収書等添付票

費目	広報費	整理番号	1-2
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

<u>領 収 証</u>		No. _____
篠崎 圭二 殿		平成30年 9月28日
金額	9542160	現金
	千 円	小切手
		手形
		振込 0
		相殺

但し  
上記の金額を領収致しました



有限会社 新英社印刷所

代表取締役 森本拓造


山口県宇部市東新川町5番10号

TEL 0836-21-1815

FAX 0836-22-8092

<u>領 収 証</u>		No. _____
篠崎 圭二 殿		平成30年 9月28日
金額	782245	現金
	千 円	小切手
		手形
		振込 0
		相殺

但し  
上記の金額を領収致しました



有限会社 新英社印刷所

代表取締役 森本拓造

山口県宇部市東新川町5番10号

TEL 0836-21-1815

FAX 0836-22-8092

領収書等添付票

費目	広報費	整理番号	1 - 3
----	-----	------	-------

【領収書その他の書面の添付欄】


領 収 書 (Receipt)

お客さま氏名 (Customer)  
しのだき主二事務所 篠崎 圭二 様

右記、金額を 2018年 10月 22日付けで  
口座振替により領収致しました。

発行日 2018年11月 6日

ご請求番号 (Billing ID)	550760-1002492-00
ご請求の内訳 (Billing Details)	2018/09/01~2018/09/30 料金後納ご利用額
領収金額 (Amount Paid) (うち消費税相当額)	893,971 円 66,218 円
金融機関	西京 恩田

日本郵便株式会社 

印紙税申告納  
付につき捺印  
税務署承認済

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

篠崎 圭二 殿

平成 27 年 2 月 22 日

金額 

7	5	0	0	5	8	0
---	---	---	---	---	---	---

 千円

但し

上記の金額を領収致しました

現金	
小切手	
手形	
振込	0
相殺	



有限会社 新英社印刷所

代表取締役 森本拓造

山口県宇部市東新川町5番10号

TEL 0836-21-1815

FAX 0836-22-8092

領収書等添付票

費目	広報費	整理番号	1 - 4
----	-----	------	-------

【領収書その他の書面の添付欄】

**領 収 証** No. \_\_\_\_\_


篠崎 圭二 殿 平成31年2月22日

金額		千	円	
	7	8	2	245

但し \_\_\_\_\_

上記の金額を領収致しました


現金	
小切手	
手形	
振込	0
相殺	



有限会社 新英社印刷所  
 代表取締役 森本拓造  
 山口県宇部市東新川町5番10号  
 TEL 0836-21-1815  
 FAX 0836-22-8092

領収書

毎度ありがとうございます。

お客様名: <u>しのぎき書二事務所 篠崎 圭二</u> 様 お客様番号: 住所: 〒755-0015 山口県宇部市笹山町1丁目1-2																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>料金額</th> <th>十</th> <th>百</th> <th>千</th> <th>百</th> <th>千</th> <th>百</th> <th>十</th> <th>円</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>7</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> </table>	料金額	十	百	千	百	千	百	十	円			7	8	2	0	3	1	5	収納内訳 現金 828,317円 小切手
料金額	十	百	千	百	千	百	十	円											
		7	8	2	0	3	1	5											
収納金 (内訳) <収納区分> 料金後納ご利用額 <収納金> 828,317円																			
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>料金計</td> <td style="text-align: right;">828,317円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>課税計</td> <td style="text-align: right;">828,317円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(内消費税等)</td> <td style="text-align: right;">61,355円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非課税計</td> <td style="text-align: right;">0円</td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td style="text-align: right;"><b>828,317円</b></td> <td></td> </tr> </table>	料金計	828,317円		課税計	828,317円		(内消費税等)	61,355円		非課税計	0円		<b>合計</b>	<b>828,317円</b>		お預り 現金 828,317円 おつり 0円			
料金計	828,317円																		
課税計	828,317円																		
(内消費税等)	61,355円																		
非課税計	0円																		
<b>合計</b>	<b>828,317円</b>																		
上記のとおり領収しました。 〒100-8792 日本郵便株式会社 東京都千代田区大手町2-3-1 連絡先: 宇部郵便局 電話番号: 0836-37-6010 担当: _____ 発行番号: 19022810001 発行日時: 2019年2月28日 12:24																			
	印刷申告納付につき、納付税抜番承認済 領収日 2019.02.28																		

費目別支出内容一覧表

議員名 篠崎 圭二

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費		整理番号	1-1
	事業内容	事務所賃借料、水道代、駐車場代		
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	事務所賃借料 平成30年4月分～ 平成31年2月分まで	660,000	330,000	$(60,000 \times 11) \times 1/2$ = 330,000
	水道代 平成30年4月分～ 平成31年2月分まで	22,000	11,000	$(2,000 \times 11) \times 1/2$ = 11,000
	駐車場代 平成30年4月分～ 平成31年2月分まで	77,000	38,500	$(7,000 \times 11) \times 1/2$ = 38,500
	《合計》	759,000	379,500	
按分割合 積算根拠	政務活動用使用頻度 (50%) / (政務活動用使用頻度 (50%) + その他の活動使用頻度 (50%)) = 1/2			

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること  
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること



領収書等添付票

費目	事務所費	整理番号	1-2
【領収書その他の書面の添付欄】			
110	30-04-25 033 R	*69,000	[REDACTED]
208	30-05-25 033 R	*69,000	[REDACTED]
313	30-06-25 033 R	*69,000	[REDACTED]
509	30-08-01 033 R	*69,000	[REDACTED]
601	30-08-27 033 R	*69,000	[REDACTED]
622	30-09-25 033 R	*69,000	[REDACTED]
719	30-10-24 029 R	*69,000	[REDACTED]
823	30-11-22 033 R	*69,000	[REDACTED]
104	30-12-25 033 R	*69,000	[REDACTED]
203	31-01-23 029 R	*69,000	[REDACTED]
321	31-02-28 033 R	*69,000	[REDACTED]
この通帳の写しは篠崎圭二名義で相違ありません			

費目別支出内容一覧表

議員名 篠崎 圭二

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費	整理番号	1-1		
事業内容	印刷機リース代				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	印刷機リース代 平成30年4月分～ 平成31年2月分まで	184,800	92,400	$(16,800 \times 11) \times 1 / 2$ $= 92,400$	
		《合計》	184,800	92,400	
	按分割合 積算根拠	政務活動用使用頻度（50%） / （政務活動用使用頻度（50%） + その他の活動使用頻度（50%）） = 1 / 2			

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること  
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料（公共交通機関利用料を含む）を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	1-2
【領収書その他の書面の添付欄】			
11	30-04-04 8	16,800 リコーリース (カ)	[REDACTED]
17	30-05-07 8	16,800 リコーリース (カ)	[REDACTED]
24	30-06-04 8	16,800 リコーリース (カ)	[REDACTED]
7	30-07-04 8	16,800 リコーリース (カ)	[REDACTED]
15	30-08-06 8	16,800 リコーリース (カ)	[REDACTED]
23	30-09-04 8	16,800 リコーリース (カ)	[REDACTED]
5	30-10-04 8	16,800 リコーリース (カ)	[REDACTED]
15	30-11-05 8	16,800 リコーリース (カ)	[REDACTED]
22	30-12-04 8	16,800 リコーリース (カ)	[REDACTED]
5	31-01-04 8	16,800 リコーリース (カ)	[REDACTED]
12	31-02-04 8	16,800 リコーリース (カ)	[REDACTED]

この通帳の写しは篠崎圭二名義で相違ありません

費目別支出内容一覧表

議員名 篠崎 圭二

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・人件費		整理番号	1-1
事業内容	政務活動用人件費			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	██████ 人件費 平成30年4月分～ 平成31年12月分まで	1,332,000	666,000	$(148,000 \times 9) \times \frac{1}{2} = 666,000$
	██████ 人件費 平成31年1月分～ 平成31年2月分まで	296,000	148,000	$(148,000 \times 2) \times \frac{1}{2} = 148,000$
		《合計》	1,628,000	814,000
按分割合 積算根拠	政務活動用使用頻度（50%）／（政務活動用使用頻度（50%）＋その他の活動使用頻度（50%）） ＝ 1／2			

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること  
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料（公共交通機関利用料を含む）を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-2
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 書

No. \_\_\_\_\_

しのぎ圭二事務所 様

---



金 額	¥148,000-	内
		消費税等

---

但 人件費として

2018 年 4 月 25 日

上記の金額正に領収いたしました



領 収 書

No. \_\_\_\_\_

しのぎ圭二事務所 様

---



金 額	¥148,000-	内
		消費税等

---

但 人件費として

2018 年 5 月 25 日

上記の金額正に領収いたしました



--

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	/ - 3
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 書

No. \_\_\_\_\_

しのぎ圭二事務所 様

金 額

¥148,000-

内

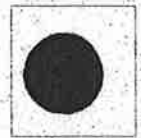
消費税等

但

人件費として

2018 年 6 月 25 日

上記の金額正に領収いたしました



領 収 書

No. \_\_\_\_\_

しのぎ圭二事務所 様

金 額

¥148,000-

内

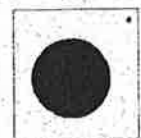
消費税等

但

人件費として

2018 年 7 月 25 日

上記の金額正に領収いたしました



領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-4
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 書

No. \_\_\_\_\_

しのぎ圭二事務所

様

金 額

¥148,000-

内

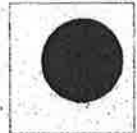
消費税等

但

人件費として

2018 年 8 月 25 日

上記の金額正に領収いたしました



領 収 書

No. \_\_\_\_\_

しのぎ圭二事務所

様

金 額

¥148,000-

内

消費税等

但

人件費として

2018 年 9 月 25 日

上記の金額正に領収いたしました



領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-5
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 書

No. \_\_\_\_\_

しのぎ圭二事務所

様

金 額

¥148,000-

内

消費税等

但

人件費として

2018 年 10 月 25 日

上記の金額正に領収いたしました



領 収 書

No. \_\_\_\_\_

しのぎ圭二事務所

様

金 額

¥148,000-

内

消費税等

但

人件費として

2018 年 11 月 25 日

上記の金額正に領収いたしました





領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-6
【領収書その他の書面の添付欄】			

領 収 書

No. \_\_\_\_\_

しのぎ圭二事務所

様

金 額

¥148,000-

内

消費税等

但

人件費として

2018 年 12 月 25 日

上記の金額正に領収いたしました



領 収 書

No. \_\_\_\_\_

しのぎ圭二事務所

様

金 額

¥148,000-

内

消費税等

但

人件費として

2019 年 1 月 25 日

上記の金額正に領収いたしました



### 領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-7
【領収書その他の書面の添付欄】			

## 領 収 書

No. \_\_\_\_\_

しのぎ圭二事務所

様

金 額

¥148,000-

内

消費税等

但

人件費として

2019 年 2 月 25 日

上記の金額正に領収いたしました



# きちんと伝える! しのぎき 圭二

山口県議会議員 現在二期目

昭和56年 山口県宇部市に生まれる  
平成5年 宇部市立恩田小学校卒業  
平成8年 宇部市立常盤中学校卒業  
平成11年 山口県立宇部高校卒業  
平成15年 広島大学経済学部卒業  
平成17年 広島大学大学院社会科学研究科修了  
格致コンサルティング会社勤務  
参議院議員林よしまさ氏秘書  
(~平成26年)

【現在の主な役職】  
環境福祉委員会 委員長  
山口県議会子育て環境づくり推進員連盟幹事長

きちんと伝える!しのぎき圭二です!県政レポート

【第10号】2018年9月



心よりお見舞いを申し上げます。

皆様、こんにちは!しのぎき圭二です。平素より様々な場面でも多くの皆様にお世話になり心から感謝申し上げます。西日本豪雨災害により、お亡くなりになりました方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災された全ての皆様にお見舞いを申し上げます。今回の豪雨では宇部市でも土砂災害警戒情報が発表、避難勧告が発令され、農地や道路、建物などに被害を出し、また県東部では3名の方が亡くなられ、各地で土砂災害が発生しています。私も熊本地震、九州北部豪雨災害に引き続き、宇部の有志の皆様とボランティア活動に参加して参りましたが、現場では情報の錯綜や混乱、衛生管理、暑さ対策など様々な課題が見て取れました。被災された方々の生活が一日でも早く戻れるよう、また今後の被害ができる限り小さくなるように防災、減災に取り組んで参ります。

本レポートでは、私の一般質問から実現に進んだ「新生児用ドクターカーの整備」、県内外の視察など1月から7月までの活動を中心に、ご報告を申し上げます。

## 新生児用ドクターカーが実現!



本年2月定例会一般質問において私が提言した「新生児用ドクターカーの整備」が実現いたしました。昨年より山口県小児科医学会の皆様から周産期医療体制の充実に向けてのお声をお預かりし、準備を進め、その体制の強化と新生児用ドクターカーの整備について質問と提言を行いました。新生児用ドクターカーは、国の指針のもと全国的に多くの県で整備されていきましたが、本県においては未だ整備されておりませんでした。県執行部からは答弁で、その必要性を認め、課題を整理し、関係者の意見を聞きながら検討するとされ、その後、山口大学医学部はじめ関係の皆様のご尽力により7月末に開催された、山口県周産期医療協議会において、その整備が決定いたしました。今後は、その運用内容や予算を含め山口県としての関わり方などが議論され、来年度予算案に計上される予定です。お預かりしたお声を基に子供たちの命や健康を守る政策をしっかりとお実現することができ、ご尽力いただいた皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

## 「活きみなぎる山口県」の実現に向けて

6月定例会では、今後の県政運営の指針となる「やまぐち維新プラン」の素案が、岡山県知事より示されました。この計画は県政最大の課題である人口減少に歯止めをかけ、活力に満ちた産業や活気ある地域の中で、県民の皆様誰もがはたらきと暮らせる「活きある山口県」の実現を目指すもので、山口県の強みを最大限に活かして、潜在力を引き出して大きく伸ばす取り組みなどに挑戦します。私は議員になって以来、若者が山口県に定住するためには何よりも雇用(しごと)の創造、そして時代に対応した子育て環境の整備が重要と考え取り組んで参りました。引き続き、計画がしっかりと成果につながるよう、県民の皆様、現場の皆様のお話をお伺いしながら、取り組んで参ります。

## 信頼される県議会に向けて!

委員として取り組んでいる議会改革では3月に政務活動費の利用ルールを大幅に改訂することができました。報道では山口県の情報公開ランキングは日本でも最も低い水準とされていましたが、今回の改定により、全国的に見ても遜色の無い内容となりました。私も若手議員の視点から、皆様からのお声を基にしっかりと意見を述べ、明確かつオープンなルールとすることもできました。信頼される県議会に向けて自身も襟を正しながら取り組んで参ります。

今年度は今任期最後の年となります。引き続き、皆様のお声をしっかりと預かりながら、私の初心である「きちんと聞く」「きちんと伝える」をモットーに、皆様のお声の実現、県政発展に尽力して参ります。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

山口県議会議員 篠崎 圭二

西日本豪雨災害で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

ボランティア活動に参加



地元被災地を巡る



発行

しのぎき圭二

〒755-0015 宇部市笹山町1丁目1-2  
TEL 0836-35-6033  
FAX 0836-39-6034  
E-mail k\_shinoz1981@yahoo.co.jp



# 2月定例会で一般質問に登壇しました

実現した新生児用ドクターカー以外にも皆様からお預かりしたお声をもとに、『宇宙利用産業の育成について』、『建設産業の活性化について』などの質問をさせていただきました。

## 質問要約

### 宇宙利用産業の育成について

昨年のJAXAの拠点設置は、我が国の宇宙ビジネスの拡大に向けた大きな流れに合致するものであり、知事が挑戦する「産業維新」に向けた大きな弾みとなるものである。

しかしながら、本県の宇宙利用産業の創出は、まだ動き始めたばかりであり、県内企業は、衛星データの利用ニーズ等について十分に発掘できていない状況である。衛星データを活用した事業の創出や、専門技術者の育成に対する支援など、新しい産業の牽引を行政にお願いしたいとの声を聞

## 答 弁

宇宙利用産業は、今後、衛星データとAIを組み合わせ活用することによる新たなビジネスの創出や、環境、農林水産分野などにおける産業の生産性向上等に貢献することが期待されています。このため、国においては、昨年策定した成長戦略「宇宙産業ビジョン2030」に基づき、我が国を牽引する成長産業として、市場規模1.8兆円を目指し、宇宙利用産業の振興を図ることとしています。

こうした中、本県は、JAXAの西日本の拠点となる研究センターの設置や、山口大学が有する優れた衛星データ解析技術という他県にはない強みを有しています。私は、これらの強みを最大限に活かし、国の成長戦略と連携した取組を進めることにより、本県産業を牽引する宇宙利用産業の育成を図ることが重要であると考えています。このため、昨年3月、産業技術センターに、県内の情報関連企業や山口大学等が参画する「衛星データ解析技術研究会」を設立し、衛星データの活用方法に関するセミナーや、ソフトウェア開発に必要な基礎技術が習得できる研修会を開催してきました。また、衛星データの産業利用に向けて、県内の農業団体や漁業団体等へのニーズ調査も実施したところです。

こうした取組を通じ、昨年11月には、衛星データから竹林の分布や増加状

ている。

こうした中、県は、来年度当初予算案において、新規事業として、「宇宙利用産業創出支援事業」を打ち出された。こうした事業により、県内企業の活性化や、さらには、本県経済を支える新たな産業としての成長を目指すことで、子どもに夢を与え、若者にとって魅力的な雇用を創出し、そして、若者の県内定着につなげていくことができると大きな期待をしている。

そこで、県では、本県における宇宙利用産業の将来性をどのように認識され、また、本県経済の一翼を担う産業として、今後どのように育成していくのか、所見を伺う。

況を予測することで、適切な時期に竹林を伐採し、竹バイオマス発電への供給等に活用する実証モデルが国の事業に採択されるなど、県内企業の動きも活性化しつつあります。

来年度は、お示しの「宇宙利用産業創出支援事業」において、産業技術センターに本県の衛星データ利用拠点を設置し、防災や環境、農林水産などの多様な分野における衛星データ解析の研究実績を有する山口大学等との連携の下、県内企業の衛星データ解析技術や、ソフトウェア開発力の向上に向けた支援を強化してまいります。

また、こうした取組で培われた技術と衛星データを活用し、例えば、最適な農作物の収穫時期や漁場の予測を行うなど、生産性を向上させる先端的なモデル実証に取り組むこととしています。

このような産学公連携による技術支援やモデル実証の実施を通じて、先進的なビジネスモデルの創出や、宇宙利用に意欲的に取り組む県内企業の育成を図ってまいります。

私は、若者に魅力ある雇用の場の創出にもつながるよう、企業・大学・関係機関が持つ力を結集し、宇宙利用産業の育成に全力で取り組んでまいります。

## 質問要約

### 建設産業の活性化について

建設産業は、人手不足が深刻な状況にある。その要因は、建設投資額の減少といった社会的背景、低い賃金水準や出勤日数、労働時間の多さといった労働環境など、複合的なものと考えられる。さらに、技術者・技能者の高齢化が進行しており、世代交代が喫緊の課題である。

県では、これらの課題に対し、長時間労働の是正や休日確保のための「公共事業発注の準準化」や、生産性向上を図るための「ICT活用工事の試行」などに取り組まれている。

しかし近年、受注競争は激しさを増しており、建設関係団体からは、入札・契

約制度の改正を求める要望が寄せられている。適切な賃金水準の確保をはじめとした「働き方改革」を推進する観点からも、県のさらなる取組が求められる。

また、生産年齢人口が減少する中で、あらゆる手段を通じ「担い手の確保や育成」に向けた取組を、これまで以上に力強く進めていかなければならない。

私は、持続可能な建設産業の構築を図るため、入札・契約制度の改正を含む「働き方改革」と「担い手の確保や育成」の取組を一体的に推し進めることが必要と考える。知事には、この難しい課題に果敢に挑戦し、着実に突破していただくよう期待している。

そこで、建設産業の活性化に向けた取組を今後どのように進めるのか、所見を伺う。

## 答 弁

建設産業は、県民生活に密着した社会資本の整備・維持管理や災害対応などを担う中核的存在として、重要な役割を果たしていますが、近年、深刻な人手不足や高齢化の進行、厳しい労働環境など、極めて困難な課題に直面しています。

このため県では、「活力みなぎる山口県」の実現に向けて、産業活力・地域活力の創出や安心・安全の確保を図る観点からも、地域を支える建設産業の活性化に取り組むこととしています。

お示しのとおり、建設産業の活性化に当たっては、適切な賃金水準の確保や休日の拡大など「働き方改革」を力強く進め、新たな担い手を呼び込む条件を整えた上で、様々な手段による「担い手の確保・育成」を展開していくことが重要です。

そこで、まず「働き方改革」を推進するためには、就業者の処遇改善に向け、企業が適正な利潤を確保できるように競争環境を整備する必要があることから、現在、低価格入札対策の強化など、入札・契約制度の見直しを検討しているところです。

また、建設産業向けの講習会や相談支援体制の充実など、企業による就労環境の改善を支援するとともに、適正な工期設定による長時間労働の是正や週休2日の実現に向けた環境整備にも取り組むこととしています。

さらに、建設工事従事者の安全と健康の確保を図るため、関係団体・機関とも連携しながら、現場の就業者が安心して働ける環境づくりに向けた計画を策定するなど、建設産業における「働き方改革」を積極的に推進してまいります。

次に、若者や女性をはじめとする「担い手の確保・育成」につきましては、これまで、工業系高校生や女性を対象とした現場見学会の開催等を通じて、入職促進に取り組んできたところです。

来年度はこれらに加え、これまでの成果や建設関係団体の御意見を踏まえ、工業系以外の高校生も含めた現場見学会の実施、企業と高校生の就業マッチングを支援する合同会社説明会の開催など、産学公の連携を土台として、より効果的な取組を展開することとしています。

県としては、地域の守り手である建設産業が、将来にわたって持続的に役割を果たしていけるよう、「働き方改革」と「担い手の確保・育成」の一体的な推進を通じ、今後とも建設産業の活性化に取り組んでまいります。

## その他にも下記の質問を行いました。

- 地域商社を核とした県産品の売り込みについて
- 県内各地に広がる観光資源のプロモーションについて
- 宇宙教育による探究学習の推進について

詳細につきましては山口県議会HP会議録をご覧ください。



山口県議会

Q 検索

山口県議会HP  
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a30000/index/>

# 県内外の先進事例を視察

県内外の先進的な取り組みを山口県に取り入れるために、視察に行っていました。

## 環境福祉委員会 県内視察

### ぶちエコ山口 日本唯一のEVルーム(山口市)

山口市にある山口日産自動車様では太陽光発電やリユースバッテリー使用蓄電池などを活用したEVと充電・蓄電機器の連携運用を体験できる日本唯一の独立したEVショールームを設置されています。電気を作り、利用し貯めるなど、先進の機材や設備などを実際に見せて頂き、エコに注目した新たなライフスタイルを考えさせて頂きました。



### 農福連携の先進事例(阿武町)

社会福祉法人EGF様の「のんきな農場」を視察させていただきました。地元の農事組合法人と連携し、農作業や農産物加工品の生産販売などを障害者の皆様の仕事として取り込み、農業と福祉の連携いわゆる農福連携に取り組まれています。様々な作業に分割できる農業の特性をうまく利用しながら、障害者の皆様の個性に合わせて仕事を分担し、農場を展開されています。ニンジンのカットやほうれん草の仕上げ、田んぼのあぜ道の管理など様々な作業にあたられています。社会福祉法人としてのメリットは障害者の就労機会の拡大、農事組合法人のメリットは不足する農作業の担い手確保となりwin-winの関係を築かれています。また自然豊かな刺激の少ない山間部での作業は障害者の方の問題行動を落ち着かせることができ、支援区分の改善にも繋がるとのことでした。まさに今後の地方における障害者福祉の先進事例でした。



### 議員有志県外視察(愛知県)

愛知県にあるトヨタ自動車(株)様では、その基幹事業である自動車製造で培われたノウハウを農業やエコ、まちづくりなどに活かされています。基幹事業である自動車の製造工場を含め、その先進事例を視察して参りました。



### 燃料水素 MIRAI

世界初の市販型燃料電池車MIRAIを生産しているトヨタ自動車(株)元町工場を視察いたしました。水素を燃料とするMIRAIは走行時に水しか排出せず、非常時には一般家庭一週間分の電源を確保できるなどの機能があります。水素の利活用については山口県でもその促進に取り組んでいる所です。元町工場では、人材育成などの意味も含めながら、ロボットは使わず全て手作業で作られています。一方で生産工程では、ITとアナログを組み合わせて、現在でも現場で改善を進められながら、より効率的となるよう取り組まれています。トヨタの生産管理工程をしっかりと見せて頂きました。



### エコな未来ライフ!

低炭素社会モデル地区『とよたecoful town』を視察いたしました。当地では次世代の環境技術などを集約し、快適な低炭素な暮らしを提案されている施設で、MIRAIなどに水素を提供する水素ステーションやHEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)という家庭で使うエネルギーを節約するための管理システムを用いたスマートハウス、県内でも運用が検討されている超小型電気自動車などをシェアして活用するスマートモビリティパークなどを視察させて頂きました。その他にも下車すると自動で駐車するシステムなど様々な技術も展示してありました。新エネルギーや循環型社会を見据えた新しい町のかたちを考える視察となりました。



### 生産管理手法を農業の生産性向上へ!

自動車事業で培った生産管理手法や工程改善のノウハウを農業へ応用し、導入されている(有)鍋八農産様を視察いたしました。いわゆる看板方式など、ムダを排除し、原価を低減し、その上で品質や生産性を向上するトヨタ生産方式を農業に応用した仕組みで、IT管理ツールと現場改善を組み合わせ、リアルタイムで情報の見える化、共有し、またITだけではなく、現場改善力など人材力を高め、農作業の生産性を向上させるシステムには、次世代の農業の姿を垣間見ることができました。



# しのさき圭二 2018年初春～夏アクションレポート



■キラリンピック開会式に出席



■林よしまさ参議院議員と意見交換



■会派の政策提言を行いました



■青少年健全育成会議で祝辞を述べました



■宇部市八十八夜お茶まつり



■若手就農者のお話を聞く



■議員連盟でレノファ山口を応援!



■世界で活躍する選手を応援(パレエ 河合選手)



■介護医療体制の充実に取り組みます



■今年もチャレンジデーに参加!



■旧優性保護法の被害者救済を求める意見書を提出しました



■竹の子ほり教室を視察



■てんかんの理解普及活動!



■宇部管内食品衛生協会で祝辞を述べました



■青少年の心身を鍛える「少林寺拳法」を体験



■林業の新たな可能性を視察



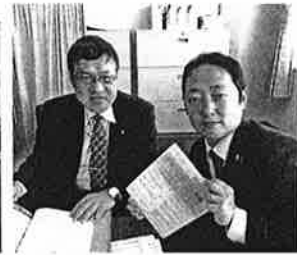
■フードバンク事業を視察



■故郷が誇る現代の名工 調理師の鷗海さんと



■看護師の皆様へ県政報告



■骨髄バンクドナー登録推進のお声をお預かりしました



■作業療法士の皆様と意見交換会



■国内外で販売されている、故郷の銘酒の酒蔵開きへ



■茶道をはじめ、伝統芸能の振興にしっかりと取り組みます。



■地元の魚を!元氣一番周年祭!



■故郷のお茶を知事へ届けました



■地域の運動会でご挨拶



■空手道大会で国際交流

# きちんと伝える! しのざき 圭二 です!

山口県議会議員

現在二期目

昭和56年 山口県宇部市に生まれる  
平成5年 宇部市立恩田小学校卒業  
平成8年 宇部市立常盤中学校卒業  
平成11年 山口県立宇部高校卒業

平成15年 広島大学経済学部卒業  
平成17年 広島大学大学院社会科学研究科修了  
経営コンサルティング会社勤務  
参議院議員林よしまさ氏秘書  
(~平成26年)

【現在の主な役職】  
環境福祉委員会 委員長  
山口県議会子育て環境づくり推進議員連盟幹事長

きちんと伝える!しのざき圭二です!県政レポート

【第11号】2019年1月



うへ新鮮市場 元氣一番 ワタリガニ さわら祭りへ!

**新春を寿ぎ、謹んでお慶び申し上げます**

旧年中は地域のイベントはじめ様々な場面でも多くの皆様にお世話になり、たくさんのお声をお聞きし、心から感謝申し上げます。本レポートでは私が行った一般質問や委員長としての公務、県外視察、秋に開催された山口ゆめ花博等、昨年の8月以降の活動をご報告させていただきます。

**皆様の声をカタチに**

昨年は、皆様からお預かりしたお声をしっかりとカタチにすることができた一年でした。環境福祉委員会委員長としては、不足が叫ばれている医師や看護師、介護士の皆様の確保など医療・福祉環境の充実、また県民の皆様の健康寿命の延伸に主眼を置いた「健康やまぐち21計画」の改定などに取り組み、議会改革検討協議会の委員としては、より厳格な政務活動費の運用ルールの策定、大規模災害時における議会対応指針の策定など、山口県議会政策立案検討会の一員としては「受動喫煙防止の取組の推進に関する条例」の策定、そして一議員としては私の一般質問から実現につながった「新生児用ドクターカー」の整備の決定、また宇部市内地域の通学路の安全確保や教育環境の改善などに取り組み、皆様からのお声を実現することができました。これもひとえにお声を頂いた多くの皆様、実現にご協力いただいた皆様のお陰と心より感謝申し上げます。引き続き、私の初心である「きちんと聞く」、「きちんと伝える」をモットーに、皆様のお声の実現、県政発展に尽力して参ります。

## 未来を見据え、未来を創る政策を!

止まらない人口減少や急激に進むIoT、人口知能、ロボット技術など、第四次産業革命を迎え、山口県においても生活や働き方、教育など社会構造が一気に変化しようとしています。そんな時代だからこそ、人と人の繋がりが現場の声を大事にし、未来を見据え、未来を創る政策を推進することが重要だと私は考えています。若者の皆様に山口県へ定住してもらうためには、何よりも魅力ある「しごと」が重要であるということ、私は議員になった当初から訴えて参りました。県民アンケートからも、しごと、経済的な安定がなければ、定住、結婚、出産、子育てができないというデータも出ています。9月議会では、これらのことを念頭に、未来に向けた新産業の創出・育成について、また地域経済を牽引する中核企業の創出・成長支援についての質問をさせて頂きました(2P参照)。次世代に活力ある山口県をしっかりと引き継いでいくために、若手県議会議員としてこれからも未来を見据え、未来を創る政策に取り組んで参ります!

## 2019年も誠実に!

今年も千十二支で言いますと、「己亥」の年となり、一説によりますと、「次のステップに向け準備を進める年」となるようです。先述したように山口県の直面する社会構造は大きく変化しようとしています。しっかりと未来を見据えながら、一方で活力ある山口県を創っていくために、その準備を進め、誠実に一つずつ、山口県政の発展に向け取り組む年となるように頑張ってお参ります。本年も何卒、ご指導、ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

山口県議会議員 篠崎 圭二



### 環境福祉委員長としての活動



■母子寡婦福祉大会にて議会を代表してご挨拶



■県内の様々な団体の皆様と意見交換



■活発な委員会運営に努めます



■やまぐち健康維新キックオフイベントに議会を代表して出席



■県民活動促進フェスタにて祝辞を述べました

発行  
しのざき圭二

〒755-0015 宇部市笹山町1丁目1-2  
TEL 0836-35-6033  
FAX 0836-39-6034  
E-mail k\_shinoz1981@yahoo.co.jp



# 山口県議会 9月定例会の一般質問に登壇いたしました！



## 次世代を担う新たな成長産業の創出・育成について

山口県はこれまで、「やまぐち次世代産業クラスター構想」に基づき、付加価値の高い研究開発や事業化への支援を積極的に進められ、その成果がしっかりと表れていることに感謝申し上げます。

国は「未来投資戦略2018」等において、医療関連、環境・エネルギー、IoT・AIなど重点分野を定め、次世代産業の育成・振興を推進しており、こうした中、「やまぐち維新プラン」に医療関連、環境・エネルギー産業の更なる成長支援に加え、バイオ関連産業やヘルスケア関連産業など、新たなイノベーションや産業創出に取り組みられることに大いに期待しています。「活力みなぎる山口県」を実現するためには、産業力を強化し、経済の活性化や魅力ある雇用の創出が特に重要であると考えています。そこで、これまでのクラスター構想の取組成果や県内企業のニーズも踏まえ、医療関連や環境・エネルギーに加え、バイオやヘルスケア、IoT・AIなど、今後急速な発展、市場拡大が期待され、次世代を担う新たな成長産業の創出・育成に、今後どのように取り組まれるのか、ご所見をお伺いいたします。(要約版)

### 村岡知事

私は、県づくりの活力源となる「強い産業づくり」に向け、これまで「やまぐち次世代産業クラスター構想」に基づき、医療関連、環境・エネルギー産業の育成・集積を積極的に推進してまいりました。

お示しのとおり、国際的な展示会で大賞を受賞した「めまい診療用眼球運動検査装置」をはじめ、50件を超える事業化が実現

するなど、着実に成果があがっており、県内企業からも、新規分野への参入、技術開発力の向上、優秀な人材確保が図られたなど、これまでの取組が高く評価されているところでです。

私は、更なる産業力の強化を図るには、こうした成果と企業ニーズを踏まえ、これまでの取組との相乗効果が見込まれる、より幅広い分野をターゲットに、企業の技術開発や新事業創出に向けた支援を拡充することが重要と考えています。

このため、「やまぐち維新プラン」及び産業維新の核となる「やまぐち産業イノベーション戦略」において、「医療」「環境・エネルギー」に加え、今後の成長が期待される「バイオ」「ヘルスケア」「IoT」などを、新たな成長産業として掲げ、その創出・育成に取り組むこととしています。

具体的には、まず、バイオ関連分野においては、県産業技術センターに民間企業から専門家を招へいし、「バイオ関連推進チーム」を設置したところであり、今後、企業等のマッチングや技術支援により、新たな製品や技術の研究開発・事業化を進めてまいります。

また、ヘルスケア分野においては、大学等で進められている最先端のAI解析技術等を活用した研究開発を促進することなどにより、健康寿命の延伸に資するヘルスケア関連産業の創出を図ってまいります。

さらに、IoT等を活用した新ビジネスの創出に向け、多様な企業が独自の技術を持ち寄り、試行を繰り返しながら事業アイデアを生み出す研究会を、産業技術センターに新たに設置するとともに、企業の生産性向上や様々な地域課題の解決に資する実証実験を支援することとしています。

こうした取組を加速するため、この度「やまぐち産業イノベーション促進補助金」を創設し、県内企業の先導的・先進的な研究開発等を重点的に支援し、関連産業の育成・集積を推進することとしています。

私は、今後とも、こうした支援制度の活用、充実を図りながら、本県の産業力強化に向け、企業、大学、関係機関の総力を結集し、次世代を担う新たな成長産業の創出・育成に全力で取り組んでまいります。



## 地域牽引する中核企業の創出・成長支援について

先般視察させて頂いた私の地元の株式会社ヤナギヤ様は、「地域未来牽引企業」として国に認定され「雇用の場の創出」に多大な貢献をされておられます。一方で、こうした地域経済を牽引する中核企業は一定の経営力等が備わっており、今までは行政からの支援、アプローチは手薄となっていた感があります。

こうした中、「やまぐち産業イノベーション戦略」のプロジェクトの中で、知事は地域中核企業の創出・成長支援や誘致を掲げ、4月からは、地元金融機関の職員を「やまぐち地域中核企業サポーター」として任命するとともにカンファレンスチームを設置し、企業訪問による経営・技術的課題や、ニーズの把握、総合的なサポートの検討を進められています。

私は、一定の事業規模と経営力を有する中核企業に対しては、従来の中小・小規模事業者に対する支援とは異なったアプローチが必要と考えます。

自民党の経済構造改革戦略においても、地域中核企業の更なる発掘と集中的支援による地域経済好循環エコシステムの具現化に取り組むべきとあります。

そこで、地域経済を牽引し、魅力的な雇用の場の創出に繋がる地域中核企業の創出・成長支援に向けて、今後どのように取り組んでいかれるのか、ご所見をお伺いいたします。(要約版)

### 佐田産業戦略部長

地域中核企業は、地域経済のバリエーションの要であり、地域の経済・雇用の牽引役としての役割が大いに期待されるこ

とから、「やまぐち産業イノベーション戦略」において、主なターゲットに位置付け、その成長・創出に向けた総合的・集中的な支援に取り組むこととしています。

具体的には、まず、県、地域金融機関、産業支援機関、大学等による官民一体となった総合支援体制として、「地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム」を新たに設置するとともに、地域金融機関職員7名を「地域中核企業サポーター」に委嘱をいたしました。

本チームでは、各機関が把握している企業ニーズやサポート情報を共有化し、連携を図りながら、一体的、集中的な支援を行うこととしており、既に40社を超える企業への訪問活動を行ったところでです。

各企業からは、IoT導入による生産性の向上や事業化戦略、人材育成など、様々な課題、ニーズを伺っており、今後はこうした企業ニーズを基に、地域未来投資促進法や新たな研究開発補助金による支援、コンサルティング等による事業化促進など、公的民間支援メニューによる総合的サポートの展開を図っていくこととしています。

さらに、重点成長分野のイノベーション創出に向けた県内企業研究者等による技術交流プラットフォームやOB人材バンクの構築等を通じ、県内企業・技術者間の技術連携の促進や、研究開発基盤の強化を図り、本県地域中核企業群の一層の成長、発展を促していきたいと考えています。

また、こうした取組や、地域中核企業を対象とした重点的・戦略的な誘致活動の展開を通じ、地域における魅力的な雇用の場の創出・拡大に努めてまいります。

県といたしましては、今後とも官民一体となつて、地域経済の活性化や雇用の場の創出を牽引する地域中核企業の成長支援に、全力を挙げて取り組んでまいります。



その他にも、地域の産業人材の確保について、中小河川における水防災対策の強化について、イージス・アショアの配備について、児童生徒の健やかな成長を担保する学校健診について質問をいたしました。詳しくは山口県議会ホームページをご参照ください。



他県の先進的な取り組みを山口県に取り入れるために、県外視察に行っていました。

## 子供たちの命を守るために！

私の一般質問から導入が決まった新生児用ドクターカーの運用などを学ぶために青森県の取り組みを視察いたしました。青森県では県立青森中央病院を周産期医療の中心として、高リスクの妊婦や新生児の集約、大学医学部と連携した医師の集約、専用ドクターカー、ドクターヘリを効果的に運用する青森県周産期医療システムに取り組んでいます。青森県ではこのシステムの導入により新生児や乳幼児の死亡率が大幅に改善しました。今回の視察では、基幹病院と県との関わり方、様々なシステムの運用の仕方などをしっかりと学ばせていただきました。子供たちの命を守るために引き続きしっかりと取り組んで参ります！



新生児用ドクターカー

## 青森プロボノプロジェクト

青森県では、仕事を通じて培った経験やスキルなどをボランティアとして提供し、人手や資金確保などで課題を抱えるNPOなどの活動基盤の強化につなげる「プロボノ」に取り組んでいます。視察時は、山口県でも、この「プロボノ」活動の促進を盛り込んだ次期総合計画の策定を進めており、その取り組みを視察させていただきました。地域の潜在的な力を活かし、NPOをはじめ各種県民活動の課題をクリアする新たな手法の1つと感じ、一方で導入には地域ごとに課題があることも感じました。引き続き、その効果的な導入に向けて検討して参ります。



## 介護ロボット先進事例

先進的に各種機能の介護ロボット・介護機器を導入され、メーカーのロボット開発にも老人福祉施設として唯一協力されている岩手県の「ほほえみ三戸」様を視察させていただきました。近年では介護現場の負担軽減のための介護ロボットの導入が進められ、一方で要介護者の機能改善の面でも、その活用が大変効果的とされています。ほほえみ三戸様では導入後に約2割の利用者の方の改善が進み、中には介護度4から介護適用外まで改善された方もいらっしゃいます。実際にロボットを試着させていただいたり、導入にあたってのスタッフの皆様の反応、制度についてなど様々なお話を聞かせて頂きました。急速に高齢化が進む地方では介護ロボットの導入は今後更に重要になって来ることが見込まれます。県内でも様々な場所で介護ロボットが導入されています、先進事例をしっかりと山口県に持ち帰りました。



## ありがとうございました。山口ゆめ花博が開催！

都市緑化祭としては過去最高の130万人を超える皆様にご来場いただき、たくさんのイベントが開催されました。開催にご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



■期間中に行われた健康維新イベントにてタレントの松村さんと！



■会場内でボルダリングに挑戦



■幕末維新館にて



■幕末の時代をVRで体験



■日本一長い竹のコースター



■たくさんの花が咲く花の谷ゾーン



■秋篠宮同妃両殿下記念植樹会場にて

# しのぎ圭二 2018年夏～冬 アクションレポート



■宇部西高等学校創立150周年式典へ



■フィットネスフェスティバルへ出席！



■ちぎり絵展覧会へ



■故郷の材料でつくる巨大瓦そば！



■決算特別委員会にて質問



■議会改革検討協議会にて会派を代表して意見発信



■少年野球のイベントに飛び込み参加！



■故郷の銘酒「賢」をしっかり応援します！



■少林寺拳法大会で激励のご挨拶



■日本・スペインシンポジウムレセプションへ参加



■地域のふるさと祭りへ



■JA山口宇部+農業まつりに参加



■宇部市民文化祭へ



■岡崎八幡宮にて、全国で四か所しか造れない御神酒を頂く



■小野地区で採れる高原キャベツ！



■山口県障害者芸術文化祭へ



■三田尻中関港ガントリークレーンを視察



■工業用水道工事現場を視察



■認知症予防フォーラムへ出席



■地域のお祭りに参加



■農業法人の収穫祭へ参加



■宇部市の姉妹都市ニューカッスルフェアへ



■琴芝ふれあいセンター祭りへ



■ふれあい朝市30周年記念大会へ



■県政報告会を開催



■山口県総合社会福祉大会へ出席



■オーガニックフェアUP+に参加

2019年も皆様のお声をしっかりと県政にお届けします！